備　考

1　「3⑴業務の具体的内容」欄には、届出に係る業務の内容をできるだけ具体的に記入すること。また、譲渡業又は貸出業を行おうとする場合は、業務の実施の方法について本様式別記により明らかにした書類を添付すること。

2　「4　主として取り扱う動物の種類及び数」欄には、事業所で主として取り扱う動物の種類（種名）をすべて記入すること。また、動物の種類ごとに最大飼養保管数を記入すること。なお、種の分類が困難な爬虫類等の動物の種類については、科名、属名等で記入すること。

3　「5⑴⑤設備の種類」欄には、動物の愛護及び管理に関する法律施行規則第10条の6第2項第2号に掲げる設備等を備えている場合に、備えている設備等にチェックをすることとし、ケージ等についてはその数を記入すること。

4　「5⑵管理の方法」欄には、ケージ等の材質、構造及び転倒防止措置を記入すること。

5　「7　権原の有無」欄は、所有権、賃借権等事業の実施に必要な事業所及び飼養施設に係る権原の有無についてチェックをすること。

6　「9備考」欄には、次に掲げる事項を記入すること。

⑴　届出する事業が、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

⑵　届出の際、飼養施設が完成していない場合は、その竣工予定日

⑶　この届出に係る事務担当者が届出者と異なる場合は、事務担当者の氏名及び電話番号

7　この様式による届出は、第二種動物取扱業の種別ごと、飼養施設ごとに行うこと。ただし、同一の飼養施設において複数の種別の業務を行う場合であって、これらに係る届出を同時にする場合は、届出書は業種ごとに別葉で作成し、共通する添付書類についてはそれぞれ1部提出すれば足りるものとする。

8　この届出書は、その写しも含めて2部提出すること。

9　この届出書及び添付書類の用紙の大きさは、図面等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

様式第11の4別記

年　月　日

第二種動物取扱業の実施の方法

氏　名
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
住　所　〒
電　話　番　号
第二種動物取扱業の種別　□譲渡業　□貸出業

項　目	実　施　方　法
1　譲渡しようとする動物の特性及び状態に関する情報の提供の方法	□譲渡しに当たって、あらかじめ、譲渡しようとする動物の品種等の名称、飼養又は保管に適した飼養施設の構造及び規模、適切な給餌及び給水の方法、適切な運動及び休養の方法及び遺棄の禁止その他当該動物に係る関係法令の規定による規制の内容を譲渡先に対して説明 □その他（　　）
2　動物の治療、ワクチン接種等に係る証明書の交付の方法	□譲渡しに当たって、飼養・保管をしている間に疾病等の治療、ワクチンの接種等を行った動物について、獣医師が発行した疾病等の治療、ワクチンの接種等に係る証明書を顧客に交付 □譲渡しに当たって、当該動物を譲渡した者から受け取った疾病等の治療、ワクチンの接種等に係る証明書がある場合には、これを顧客に交付 □その他（　　）
3　貸出しをしようとする動物の特性及び状態に関する情報の提供の方法	□貸出しに当たって、あらかじめ、貸出しをしようとする動物の品種等の名称、飼養又は保管に適した飼養施設の構造及び規模、適切な給餌及び給水の方法、適切な運動及び休養の方法及び遺棄の禁止その他当該動物に係る関係法令の規定による規制の内容に関する情報を提供 □その他（　　）
備　考	

備　考

1　「その他」の場合は、内容を詳細に記入すること。

2　譲渡業の場合は1及び2を、貸出業の場合は3を記入すること。

3　この書類の大きさは、日本工業規格A4とすること。

様式第11の5（第10条の7第1項関係）

年　月　日

都道府県知事
市　長　殿

届出者　氏　名
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
住　所　〒
電話番号

第二種動物取扱業変更届出書

（第二種動物取扱業の種別／事業の内容及び実施の方法／主として取り扱う動物の種類及び数／飼養施設の構造及び規模／飼養施設の管理の方法）を変更するので、動物の愛護及び管理に関する法律第24条の3第1項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1　第二種動物取扱業の届出をした年月日		年　月　日
2　第二種動物取扱業の種別		□譲渡し　□保管　□貸出し　□訓練　□展示 □その他（　　）
3　変更内容	⑴変更前	
	⑵変更後	
4　変更予定年月日		年　月　日
5　変更理由		
6　添付書類		□登記事項証明書／□飼養施設の平面図／□飼養施設の付近の見取図 □その他（　　）
7　備考		